

諸召会の内在的な交わりは、諸召会の有機的な関係のためである

聖書：啓 22:1. 使徒 2:42. I コリント 10:16-18.

II コリント 13:14. ピリピ 2:1. I ヨハネ 1:3, 7

- I. わたしたちは諸召会の内在的な交わりを見て、その中へと入る必要があります：
- A. 交わりは、キリストの有機的なからだのすべての肢体の内側にある、肢体を通しての、肢体の間にある永遠の命の流れです。それは新エルサレムにおける神と小羊の御座から流れ出る命の水の流れによって説明されています——啓 22:1。
  - B. 人の体の中に血液の循環があるのと同じように、キリストのからだの中にも循環があり、新約はそれを交わりと呼んでいます——I ヨハネ 1:3, 7。
  - C. キリストのからだの交わりは、諸召会の間の交わりであり、使徒たちの交わりです——使徒 2:42. I ヨハネ 1:3：
    - 1. 交わりは教えからきます。もしわたしたちが間違った事を教えるなら、また使徒たちの教え、すなわち神のエコノミーの教えと異なった事を教えるなら、わたしたちの教えは、分派的、分裂的な交わりを生み出します——使徒 2:42. I テモテ 1:3-6. 6:3-4. II コリント 3:8-9. 5:18：
      - a. 教えは交わりを生み出し、交わりは教えからきます——I コリント 4:17. 1:9. 10:16。
      - b. 今日の主の回復において、わたしたちは使徒たちの教えの下におり、また使徒たちの交わりの中にいます——使徒 2:42。
    - 2. 使徒たちの交わりの中で三一の神と交わりを持つことは、わたしたちの個人的な利益をわきに置き、使徒たちと三一の神と結合して、神の定められた御旨を完成するためです——ピリピ 4:14. 2:1. 使徒 2:42. I ヨハネ 1:3. I コリント 1:9. 3:6, 12。
  - D. 一つの神聖な交わりは、織り込まれた交わりです。すなわち、水平の交わりが垂直の交わりと織り込まれています：
    - 1. 使徒たちの初期の経験は、御父との、また御子イエス・キリストとの垂直の交わりでした。しかし、使徒たちが永遠の命を他の人たちに伝えた時、彼らは神聖な交わりの水平の面を経験しました——I ヨハネ 1:2-3. 参照、使徒 2:42。
    - 2. わたしたちと聖徒たちとの水平の交わりは、主との垂直の交わりへとわたしたちをもたらしめます。それからわたしたちと主との垂直の交わりは、聖徒たちとの水平の交わりへとわたしたちをもたらしめます：
      - a. わたしたちは神聖な霊によって、すなわち聖霊によって、神聖な交わりの垂直の面へと入ります。交わりのこの面が指しているのは、わたしたちが三一の神を愛することによって彼と交わるということです——II コリント 13:14. I ヨハネ 1:3, 6. マルコ 12:30。

b. わたしたちは人の霊によって、神聖な交わりの水平の面へと入ります。交わりのこの面が指しているのは、わたしたちが互いに愛し合うことにおいて霊を活用することによって、わたしたちが互いに交わるということです——ピリピ 2:1. 啓 1:10. I ヨハネ 1:2-3, 7. I コリント 16:18. マルコ 12:31. ローマ 13:8-10. ガラテヤ 5:13-15.

3. この神聖な交わりの中で、神がわたしたちと織り込まれます。このように織り込むことは、神と人とのミングリングであって、神聖な構成要素をわたしたちの霊的な存在の中へともたらしめて、わたしたちを命において成長させ、造り変えます——レビ 2:4-5.

E. クリスマン生活の中では、神聖な交わりがすべてです：

1. 電流が電気そのものであるように、神聖な命の交わり、神聖な命の流れは、神聖な命そのものです。

2. 交わりがなくなると、神も消え去ります。神は交わりとして来ます——II コリント 13:14. 啓 22:1.

II. わたしたちは諸召会との有機的な関係を見て、その中へと入る必要があります。これが唯一の召会（すべての地方召会から構成されている宇宙召会）の唯一の関係です。I コリント第 12 章 28 節の「召会」は、召会の宇宙的な面も地方的な面も指しています：

A. この有機的な関係は、すべての地方召会の間で唯一無二の方法で普遍的に実行されます。すべての地方召会は、キリストの唯一の、有機的なからだです——II コリント 13:14. I ヨハネ 1:3, 7.

B. すべての地方召会是一个の召会です。それらの地方召会の有機的な関係は、神聖な命の有機的な交わりに基づいています。キリストの一個の宇宙的なからだを構成するすべての召会の間には、何の組織もありませんが、キリストのからだの交わりがあります——ピリピ 1:5. 参照、使徒 9:31.

C. 一地方の召会は、別の地方の召会と全く関係がないという態度を持つべきではありません。諸召会との関係に対して、内在的に間違った認識と異なる教えがあり、諸召会を分離した、自治的なものとしています。このような間違った異なる教えがわたしたちの間にあり、分裂に次ぐ分裂を引き起こしています。

D. 主の回復は以下の真理に基づいています。それは、キリストがただ一個のからだを持っており、その一個からだが多く地方で諸地方召会として表現されるということです。一個霊があるので、ただ一個のからだがあり、からだの中にはただ一個の命の循環があります。この循環はキリストのからだの交わりであり、それは諸召会の間交わりです——エペソ 1:22-23. 4:4-6. I ヨハネ 1:3, 7. 啓 1:11.

E. 一地方召会はキリストの唯一のからだの一部分であり、宇宙的な面において、からだの交わりは一個です。神聖な交わりの中には分離はありません——啓 1:11. 2:7 前半：

1. どの召会や地域もそれ自体をからだの交わりから隔離すべきではありません。

召会や地域がそれ自身をキリストのからだの交わりから隔離した結果は、暗  
やみ、混乱、分裂、死です。

2. もしわたしたちが自分自身をからだの交わりから隔離するなら、主の晩餐に  
あずかる資格はありません。なぜなら、主の晩餐において、食卓の上のパン  
はキリストのからだ全体を表徴するからです—— I コリント 10:16-17.  
11:25-28。

**III. 神聖な交わりは、その霊の一の中で、キリストのからだの中に生きることの実際  
です—— I コリント 1:9. 10:16-18. 12:12-13, 27. 使徒 2:42. エペソ 4:3 :**

- A. 神聖な交わりは、わたしたちを共にブレンディングします。すなわち、わたし  
たちを調節し、調整し、調和させ、共にミングリングして、一つからだとなら  
せませす—— I コリント 10:17. 12:24-25 :
  1. 共にブレンディングされることは、十字架を経過し、その霊によってあらゆる  
事を行ない、キリストのからだのためにキリストを他の人たちの中へと分  
与することです——参照、歴代下 1:10。
  2. わたしたちは自分と組み合わされている他の聖徒たちと交わることなしに、  
何も行なうべきではありません。交わりは、わたしたちが何かを行なおうと  
しているときに、立ち止まることを要求します——参照、エゼキエル 1:11 後  
半-14。
- B. 神聖な交わりの中で制限されることによって、キリストのからだは一の中に保  
たれ、その務めの働きは続けて前進します。交わりは、あらゆるものを生かし  
ます——エペソ 4:11-12. 参照、エゼキエル 47:9。
- C. わたしたちは使徒に倣って、諸地方召会をキリストのからだの交わりの中へと  
もたらし、使徒の足跡に従ってすべての聖徒をキリストのからだ全体のブレン  
ディングの生活の中へもたらす必要があります——ローマ 14:3. 15:7-9, 25-33.  
第 16 章。
- D. わたしたちはキリストのからだの交わりとブレンディングとの実際を持たなけ  
ればなりません。そうでなければ、わたしたちがどれほど追い求めても、また  
わたしたちがどれほど単純でへりくだっていても、遅かれ早かれ、わたしたち  
の間には問題が生じ、さらには分裂があるようになります。
- E. ブレンディングの目的は、わたしたちすべてをキリストのからだの実際の中へ  
もたらすことです。わたしたちが諸地方召会を尊ぶのは、一つの目的のため  
です。それはわたしたちが手続きとしての諸地方召会の中において、キリストの  
からだの実際の中へもたらされる必要があるということです。